

読み下し文

秋風起兮石破飛	秋風起こりて石破飛び
小泉林兮下野帰	小泉・林 下野して帰る
蘭有秀兮菊有芳	蘭に秀あり 菊に芳あり
懷麻生兮不能忘	麻生を思いて 忘るる能わず
任挨拶兮済各党	任の挨拶に各党を済(わた)れば
堂中流兮我新聞	堂中で流れる我の新聞(ニュース)
網祝鳴兮発賛歌	網(ネット)でも発せられている我への賛歌
歡喜極兮不安多	歡喜極まりて 不安多し
内閣幾時兮失脚何	内閣幾時ぞ 失脚を如何せん

現代語訳・補注

秋風(秋になって石破おろし)が起こりて、石破(内閣)が吹き飛んだ

小泉・林は(総裁選に)落ちて、下野して(元の一議員に)帰る

(お祝いに並べられた胡蝶)蘭は見事で菊には芳香がある。

(後押ししてくれた)麻生の恩は忘れない

就任の挨拶に各党を回れば

(国会議事)堂に流れる我に関するニュース

ネットもお祝い・賛辞が発せられてる。

(就任の)嬉しさ極まれば 不安が胸に迫る

(薄氷の)内閣はいつまでもつか そのうちの失脚は如何ともし難い



参考 秋風辭 漢武帝

秋風起兮白雲飛

草木黃落兮雁南帰

蘭有秀兮維有芳

懷佳人兮不能忘

汎樓船兮済汎河

横中流兮揚素波

簫鼓鳴兮發棹歌

歡樂極兮哀情多

少壯幾時兮奈老何

お断り 漢詩風ですが、平仄や本来の意味は滅茶苦茶です。

新作百人一首は休載

予想に反して結果が変わった場合の差し替え作

秋風起兮連立飛	秋風起こりて連立飛び
公明脱兮野党帰	公明脱して野党に帰る
国有機兮維有芳	国に機会あり 維に芳あり
懐政権兮不能忘	政権を思いて 忘るる能わず
任調整兮済各党	任(組閣)調整に各党を済(回れ)ば
堂中流兮党新聞	堂中で流れる党の新聞(ニュース)
網祝鳴兮発期待	網(ネット)で祝われ期待が発せられる
組閣極兮不安多	組閣極まりて 不安多し
内閣幾時兮瓦解何	内閣幾時ぞ 瓦解を如何せん

現代語訳・補注

秋風が起って連立が飛び散った
公明 (連立を)離脱して 野党に帰る
国民民主政権に機会あり 維新も良い状況だ
政権を取る意思 忘れてはならない
組閣の調整に各党を回れば
(国会議事)堂で流れる(各)党のニュース
ネットでも祝われ期待の声が寄せられる
組閣ができても不安が多い
内閣はいつまでもつか瓦解をどうしようか